新春にあたり話したい事

明けましておめでとうございます。

この度私は、昨年11月26日の株主総会及び取締役会にて、代表取締役社長の大役をおおせつかりました。この場を借りて社員の皆さんに私の考えを申し上げます。

一、資格取得について

当社が登録しています建築物環境衛生総合管理業の要件の中に、会社に資格者が必要な要件が4つあります。

1つ目は統括管理者というものがあります。統括管理者は清掃、設備運転、設備点検の調整を行う仕事です。統括管理者を取得するには、建築物環境衛生管理技術者の取得が条件になります。

2つ目は清掃作業監督者です。清掃業務においてはこの資格が最高位となります。清掃作業監督者はまず、ビルクリーニング技能士を取得し、その後6年間の経験が必要です。

3つ目は空気環境測定実施者です。空気環境を正確に測定し、建築物環境衛生管理技術者に報告するという仕事を担っています。空気環境測定の5年以上の経験を積んでからなりますし

最後の4つ目は空調給水設備管理者です。設備運転業務においてはこちらの資格がゴールとなります。ビル管理技術者に合格しその後6年間の経験が必要です。

このように、ビルメンテナンス業という業務は、多くの資格が無くしてはできない仕事です。

また、各資格には経験年数が、資格取得条件になっているものが多数あり、ぜひ、入社時から計画的に目標としていただきたいと思います。

会社としても、必要な資格には資格取得のチャンスを提供します。

二、人事評価について

現在、AI革命で人口知能が凄い勢いで発達しています。清掃でも、掃除機や床洗浄機の自動化が進んでおります。設備では温度センサーの発達で自動制御空調や、点検機構がついた消防設備が設置されてきました。警備業では無人鍵貸し出し機や、監視カメラと連動した施錠開錠する扉などがあります。しかしどんなに、機械化が進んでも、人がやることが減っていくわけではありません。人をサポートする機械類が増えていくのであって、ビルメンテナンス業が人の集約産業であることには変わりません。

そんな時代の中、多くの社員の皆さんに、お客様の要望通りに仕事をしていただかなければいけません。そのためには、社員一人一人の仕事は益々複雑になります。さらに、個々人の仕事は、他の部門との関連を持ちながら、企業全体の大目的に添わなければなりません。しかも、その網の目のような仕事を、最終的に一つの管理体制にまとめていかなければならないのです。

それには、各セクションに仕事を細分

代表取締役社長

鈴　木　謙　太



化し、部、課、係の各社員に分担させるリーダーが必要なのです。

本来であれば、私が全現場を回り、業務分担をし、皆さんから意見を聞き調整し、作業内容を評価すればいいのですが、さすがに600顧客、1800名の組織になると一人ではできません。そのため各部門にリーダーを付け、社員の皆さんと社長との繋がりは、直属のリーダーを通して行います。

ですので、各リーダーは、**私の指示を理解し、自身の部門の能力や状況をふまえて、指示を出せる**方を任命していきます。また、**部下に対して盲目的に服従を求めるのではなく、意見具申を遠慮なく言えるような関係**をつくり、部下の行動の責任を取り、行動してくれる部下に感謝できるリーダーでありたいと思っています。

私はリーダーとして**能力を発揮し、与えられた仕事をやり切る人が昇格、昇給する会社を作っていきたい**と思います。

三、風通しが良い組織について

私も、平社員より当社に勤務してまいりましたが、よくホウレンソウ（報告・連絡・相談）がなってないと言われたものです。その時いつも思っていたのですが、何を報告して何を報告しないのだろうと。また、その時々の上司によって報告する内容が違っていたりしました。

現在でも書類を作成する情報が報告の必要なものであると認識しています。

しかし書類を作ってからでは、対応や情報が遅れることがあります。緊急性があることについては電話、メールでの報告が必要なこともありますので、きっちりとした報告基準を作成していきます。

また、現場を優先して、**社員、パートの方がいる時間、お客様がいる時間に現場に行ってほしい**と管理担当社員には言っています。

なぜなら、情報のほとんどは、本社の事務所には無く、各現場や各営業所、各部門にあるものです。それを吸収して直属のリーダーに報告していただきたいのです。そうすれば**会社全体で上から下まで情報が通った組織となる**からです。

四、明るい職場の雰囲気づくりについて

本社忘年会の挨拶でもちょっと聞いたかもしれませんが改めて発信させていただきます。

社長になりまして、全社の入退社の書類を見ようになりました。見ていますと入社されて3週間以内に辞めていく方が多くいらっしゃいます。

ご本人が、思っていた仕事と違っているのかもしれないし、職場になじめなかったのかもしれません。しかし、新潟ビルサービスという家に入ったのに出て行ってしまうことはとても悲しいことです。

皆さんも、私もですが、入社時は仕事も上司、同僚も初めてで緊張して入社されたのだと思います。しかし、上司や同僚の優しい言葉で仕事は続けてこられたのだと思います。ですから、先任の皆さんは新人さんが入られたら、積極的に声がけをしてあげてください。先任の皆さん一人ひとりの優しい気持ちが職場の雰囲気を作っていきます。

一人ひとりの心がけで、**仕事は大変だけど明るく仲がいい職場**を提供できるよう努力しましょう。